



# 2023年3月期第3四半期 決算説明会資料

セレンディップ・ホールディングス株式会社 | 証券コード：7318



# Table of Contents

- 1.会社及び事業概要
- 2.第3四半期実績
- 3.業績進捗率
- 4.セグメント別業績見通し
- 5.日本ものづくり事業承継基金1号ファンド設立について
- 6.Q&A



**SERENDIP**  
HOLDINGS

# 会社及び事業概要

## Company and Business overview

—  
*we can create  
a better world*





## Our Mission

# 100年企業の創造

**日本の中堅・中小製造業に経営革新をもたらし、中小企業の未来を創る**

---

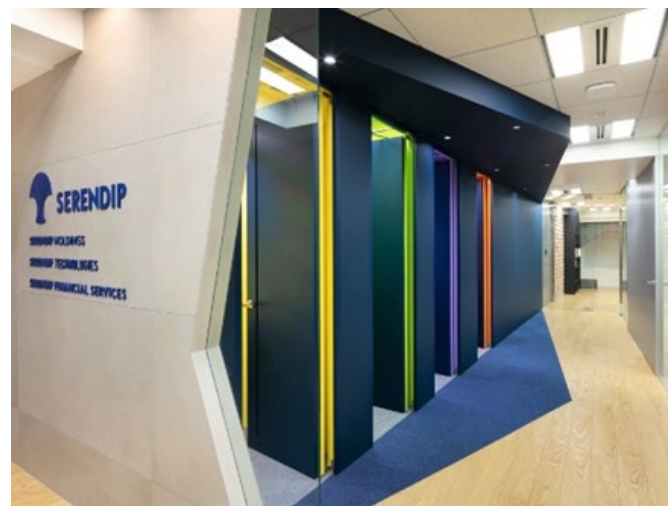
私たちセレンディップ・グループは、モノづくり企業に特化した事業投資会社として、「経営の近代化」と「地方創生」を積極的に推進します



# 会社概要

- 社名** : セレンディップ・ホールディングス株式会社  
SERENDIP HOLDINGS Co., Ltd.
- 本社所在地** : 愛知県名古屋市中区錦一丁目5番11号
- 設立** : 2006年8月
- 資本金** : 1,114,030千円 (2022年12月末現在)
- 従業員数** : 単体 34名\*1 (2022年12月末現在)  
グループ全体 516名 (2022年12月末現在)
- 役員構成** : 代表取締役会長 高村 徳康  
代表取締役社長 竹内 在

\*1 直接雇用の従業員数



# 事業セグメント別 セレンディップ・グループ企業一覧

- 成長するモノづくり企業とそれを支えるプロフェッショナルをグループ化
- 23年1月にアベックスを完全子会社化

## セグメント

### インベストメント

売上高\*1 6,890万円  
従業員数\*1 6名\*2



セレンディップ・フィナンシャル  
サービス  
(投資・FA業務)

### モノづくり

売上高\*1 129.8億円  
従業員数\*1 398名



天竜精機  
(FA装置製造)



佐藤工業  
(オートマ機能部品製造)



三井屋工業  
(自動車内外装部品)



開発段階における試作受託・デザ  
イン

### プロフェッショナル・ソリューション

売上高\*1 11.8億円  
従業員数\*1 96名



セレンディップ・ホールディングス  
(コンサルティング〔経営、現場  
改善、DX〕)



セレンディップ・テクノロジーズ  
(設計・開発のエンジニア派遣、  
ソフトウェア設計・開発・  
販売・保守)

\*1 2022年3月末時点 (アベックスは含まず) \*2 セレンディップ・ホールディングスより出向

# 第3四半期実績 Financial Results

—  
*we can create  
a better world*



# 2023年3月期第3四半期連結業績サマリ

売上高：モノづくりセグメントにおいて、自動車メーカーの生産計画見直しによる減産の影響を受けたが、FA製造装置の受注が回復基調なため、前年同期並みで着地

営業利益：モノづくりセグメントにおける、製造現場の多能工化による生産性向上、インベストメントセグメントのフィナンシャル・アドバイザーー売上計上により大幅な増益

売上高

10,517百万円

前年同期比 +3.6%

営業利益

133百万円

前年同期比 +120.7%

経常利益

122百万円

前年同期比 +65.3%

親会社株主に  
帰属する

当期  
純利益

125百万円

前年同期比 +253.0%



# 2023年3月期 第3四半期連結業績サマリ (セグメント別)

売上高

セグメント利益

モノづくり事業

9,818百万円

対前年同期 +254百万円

前年同期比 +2.7%

189百万円

対前年同期 +67百万円

前年同期比 +54.6%

プロフェッショナル・  
ソリューション事業

928百万円

対前年同期 +42百万円

前年同期比 +4.8%

(注) セグメント間の内部売上高又は振替高を含む

△49百万円

対前年同期 △36百万円

前年同期比 -%

インベストメント  
事業

79百万円

対前年同期 +55百万円

前年同期比 +231.7%

(注) セグメント間の内部売上高又は振替高を含む

△6百万円

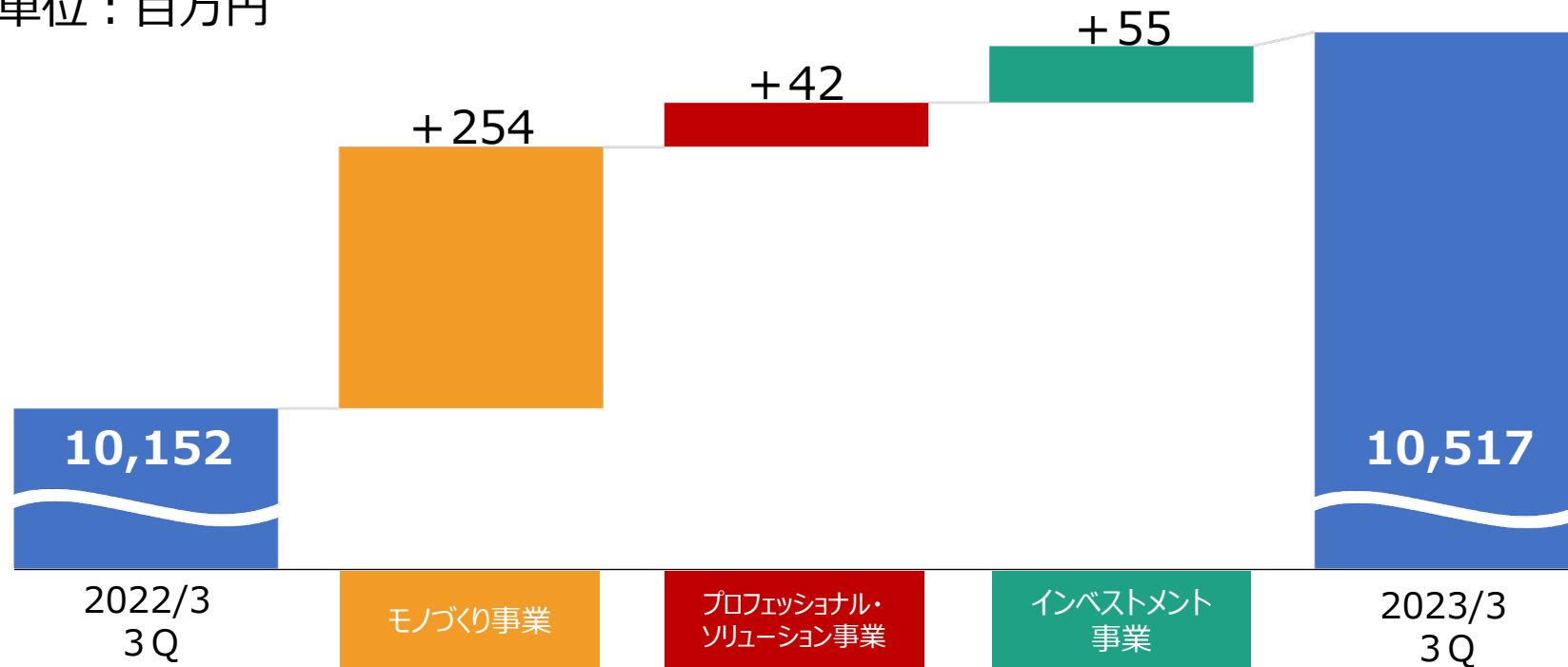
対前年同期 +42百万円

前年同期比 -%

# 2023年3月期 第3四半期連結売上高増減分析

モノづくり：自動車メーカーによる減産の影響を受け自動車部品製造が減収となったが、FA製造装置の新規顧客獲得や、主要顧客の設備投資活動の再開により回復基調  
プロフェッショナル：旺盛な製造業DX支援、ITコンサルティングへの需要を受け増収  
インベストメント：投資実行案件のフィナンシャルアドバイザーリー売上により増収

単位：百万円

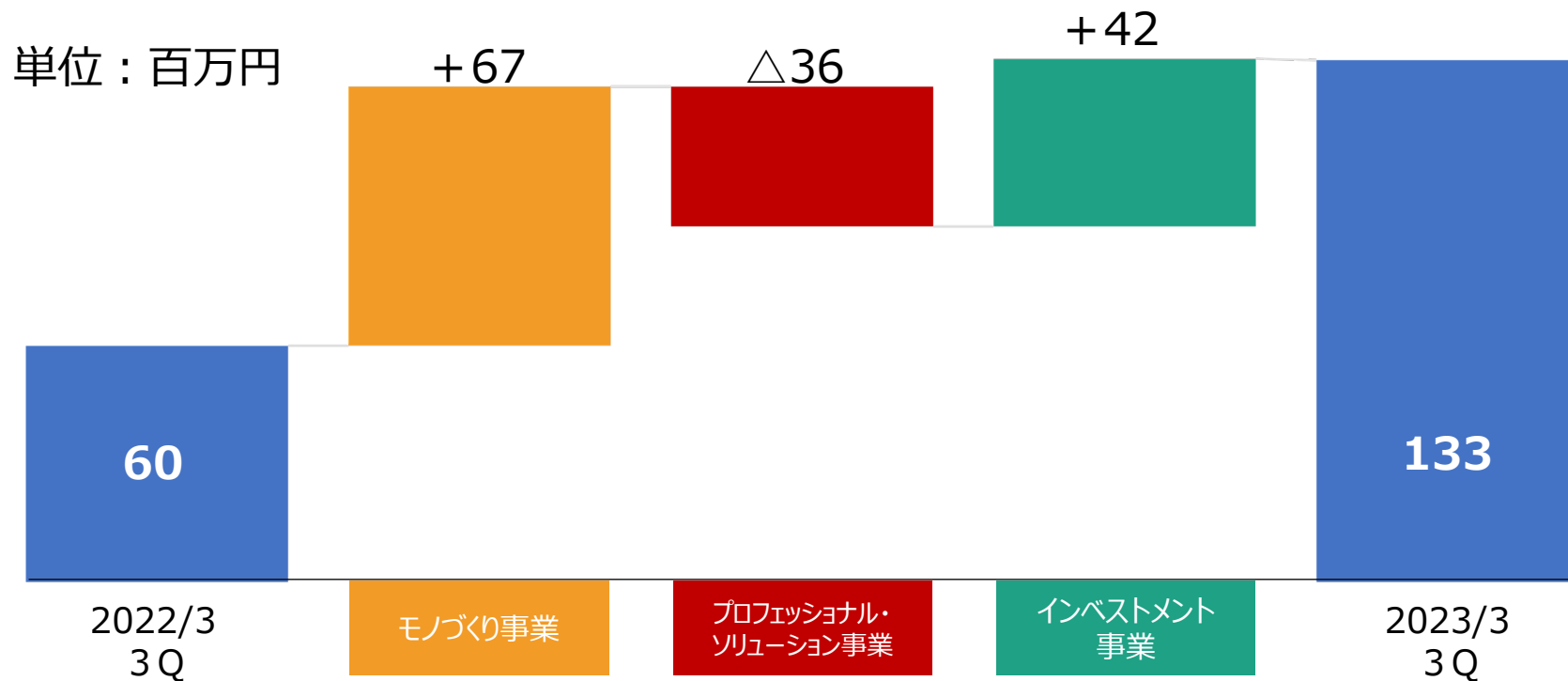


# 2023年3月期 第3四半期連結営業利益増減分析

モノづくり：製造現場に留まらず、バックオフィスを含む会社全体で従業員の多能工化を進めることで、固定費を抑制し増益

プロフェッショナル：コンサルタント採用費やM&A関連費用(デューデリジェンス費用)を織り込み減益

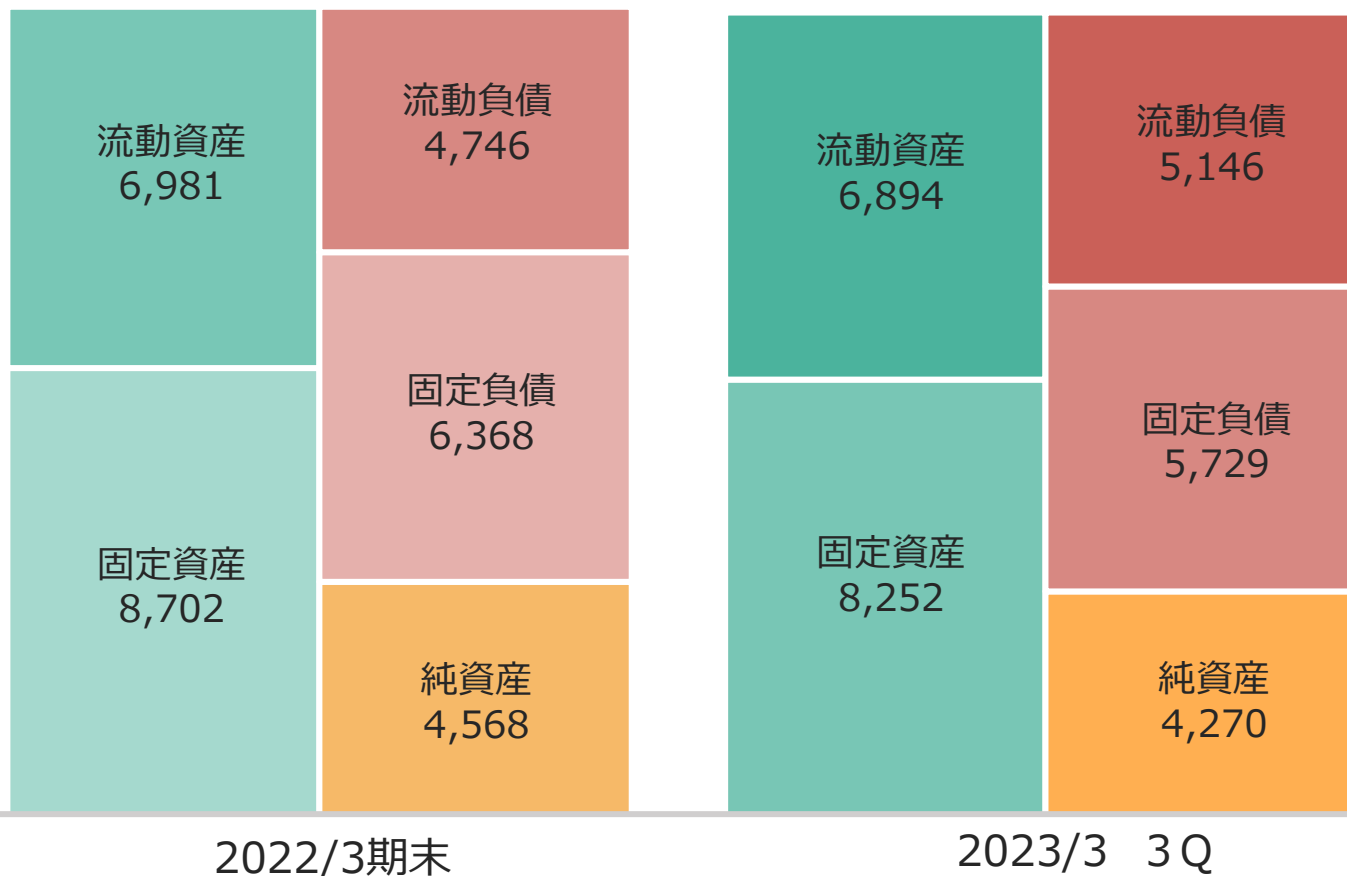
インベストメント：フィナンシャルアドバイザーー売上計上に伴い増益



# 連結貸借対照表サマリ

- 自己株式取得が計画通り終了。約1億円の自己株式を取得
- 投資有価証券の時価評価額が減少し、純資産が減少したものの、借入金の返済が進んだ結果、自己資本比率は維持

単位：百万円



自己資本比率

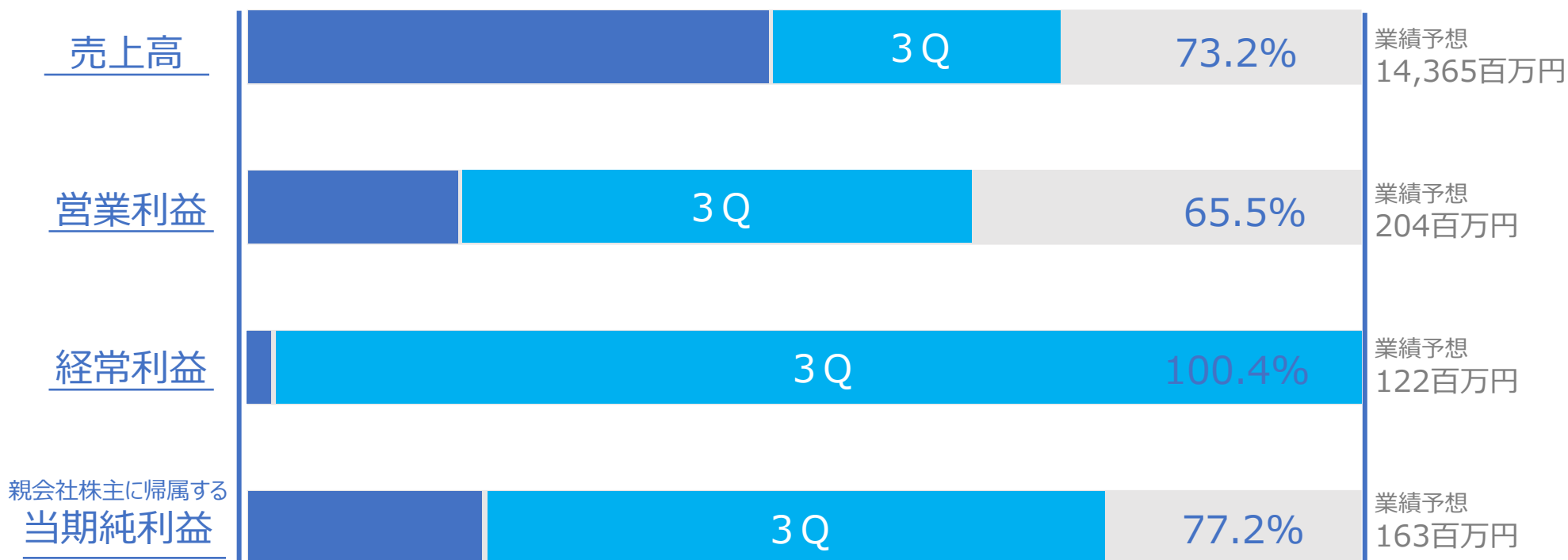
28.2%

前期末比△0.3%



## 通期連結業績予想に対する進捗率

- 売上高の進捗は概ね計画通り
- グループあがての原価改善活動の推進によって、着実に利益を生み出す体制を構築中。電気代高騰の影響を受け、営業利益の進捗は65.5%に留まるものの、受取補償金を営業外に計上した結果、経常利益の進捗は100.4%



# セグメント別業績見通し Earnings Forecast by Segment

—  
*we can create  
a better world*



# セグメント全体像

## ① モノづくり事業

- 天竜精機（FA装置製造）
- 佐藤工業（自動車精密部品製造）
- 三井屋工業（自動車内外装部品製造）
- アペックス（開発段階における試作受託・デザイン）

2023年1月10日  
連結子会社化



## ② プロフェッショナル・ソリューション事業

- セレンディップ・ホールディングス（プロ経営者派遣、経営コンサルティング）
- セレンディップ・テクノロジーズ（設計・開発・ITエンジニア派遣、ソフトウェア開発）

## ③ インベストメント事業

- セレンディップ・フィナンシャルサービス（ファンド・共同投資・フィナンシャルアドバイザー）

# セグメント別業績見通し

## モノづくり事業

1. 自動車部品製造は、生産が急に変動した場合にも確実に利益を出すため、多能工化・DX化を推進
2. FA製造装置は、半導体市況に一部不透明感が出ているものの好調を維持
3. アパックスの連結子会社化が1月に完了。1月から連結損益へ貢献（影響金額は精査中）

## プロフェッショナル・ソリューション事業

1. コンサルティングへの旺盛なニーズに対応し営業力を強化。案件成約を加速
2. 既存投資先へのプロ経営者派遣は堅調
3. ERPベンダーとのアライアンスパートナー締結によるコンサルティング新規領域へ進出

## インベストメント事業

1. 営業力強化により、フィナンシャルアドバイザー（FA）の検討案件数が増加
2. 業務提携した地方金融機関からの投資検討案件数が増加
3. SBI新生銀行グループとの共同ファンド設立によって、ファンドを通じた投資案件が新規スタート（連結損益への影響は来期以降）



# セグメント全体像

## ① モノづくり事業

- 天竜精機（FA装置製造）
- 佐藤工業（自動車精密部品製造）
- 三井屋工業（自動車内外装部品製造）
- アペックス（開発段階における試作受託・デザイン）

2023年1月10日  
連結子会社化



## ② プロフェッショナル・ソリューション事業

- セレンディップ・ホールディングス（プロ経営者派遣、経営コンサルティング）
- セレンディップ・テクノロジーズ（設計・開発・ITエンジニア派遣、ソフトウェア開発）

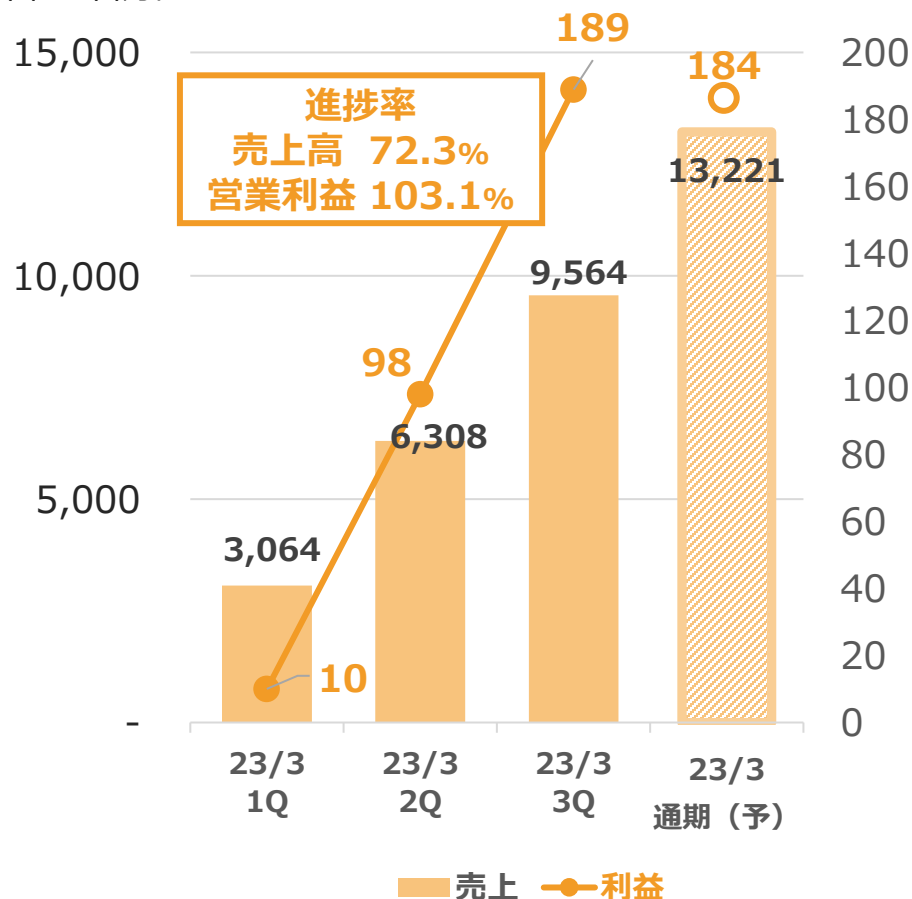
## ③ インベストメント事業

- セレンディップ・フィナンシャルサービス（ファンド・共同投資・フィナンシャルアドバイザー）

# モノづくり事業の業績予想

## モノづくり事業の目標とする「売上高・営業利益」の推移

単位：百万円



### 今後の見通し

#### 売上高

- 自動車部品製造は、一部メーカーに生産挽回の動きがあるものの、慎重な見通しを継続
- FA製造装置は、半導体市況に一部不透明感が出ているものの、車載向け・半導体向けは好調を維持

#### 営業利益

- 自動車部品製造は、生産体制のダウンサイジング化を実施。急な増産に備えて、多能工化・DX化を推進
- FA製造装置は、設計の標準化・再利用化が進捗
- 1月に開発段階における試作受託・デザインのアペックスを連結子会社化

#### 【参考】

アペックスの前期営業利益 68百万円（年間）

※通期連結業績に織り込む。影響の詳細は精査中

(注) 「セグメント情報」のセグメント売上高・セグメント利益の数値を基に記載しております。

# セグメント全体像

## ① モノづくり事業

- 天竜精機（FA装置製造）
- 佐藤工業（自動車精密部品製造）
- 三井屋工業（自動車内外装部品製造）
- アペックス（開発段階における試作受託・デザイン）

## ② プロフェッショナル・ソリューション事業

- セレンディップ・ホールディングス（プロ経営者派遣、経営コンサルティング）
- セレンディップ・テクノロジーズ（設計・開発・ITエンジニア派遣、ソフトウェア開発）

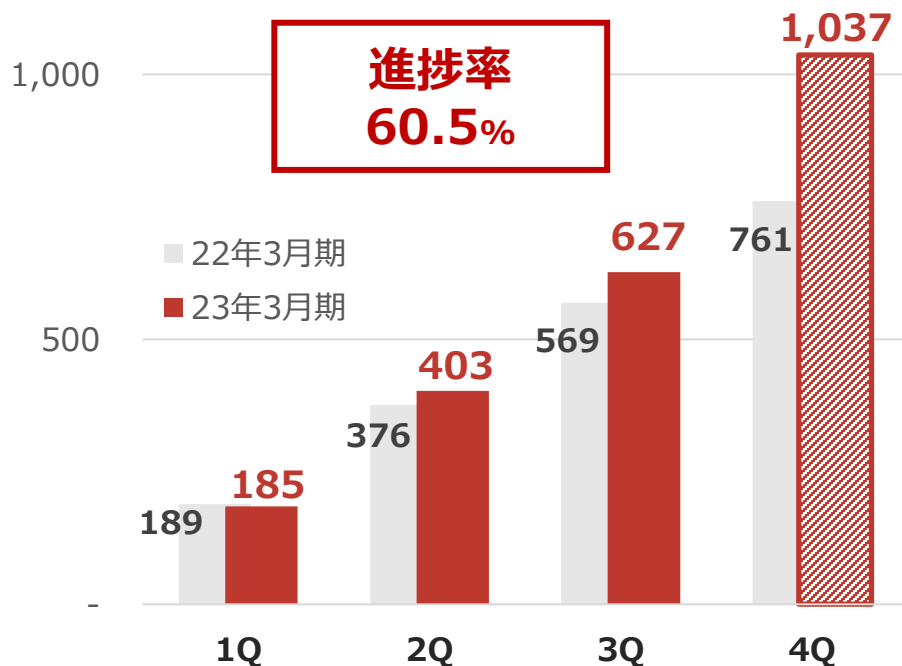
## ③ インベストメント事業

- セレンディップ・フィナンシャルサービス（ファンド・共同投資・フィナンシャルアドバイザー）

# プロフェッショナル・ソリューション事業の業績予想

## プロフェッショナル・ソリューション事業の目標とする「外部顧客への売上高」の推移

単位：百万円



(注) 「セグメント情報」の「外部顧客への売上高」数値を基に記載しております。

23/3通期  
(予)

### 今後の見通し

#### プロ経営者派遣、コンサルティング

- ITコンサルティングへの旺盛なニーズに対応するため営業力を強化
- 22年11月にセレンディップ・フィナンシャルサービスが投資実行した「三河鉱産」に対する経営者派遣が継続

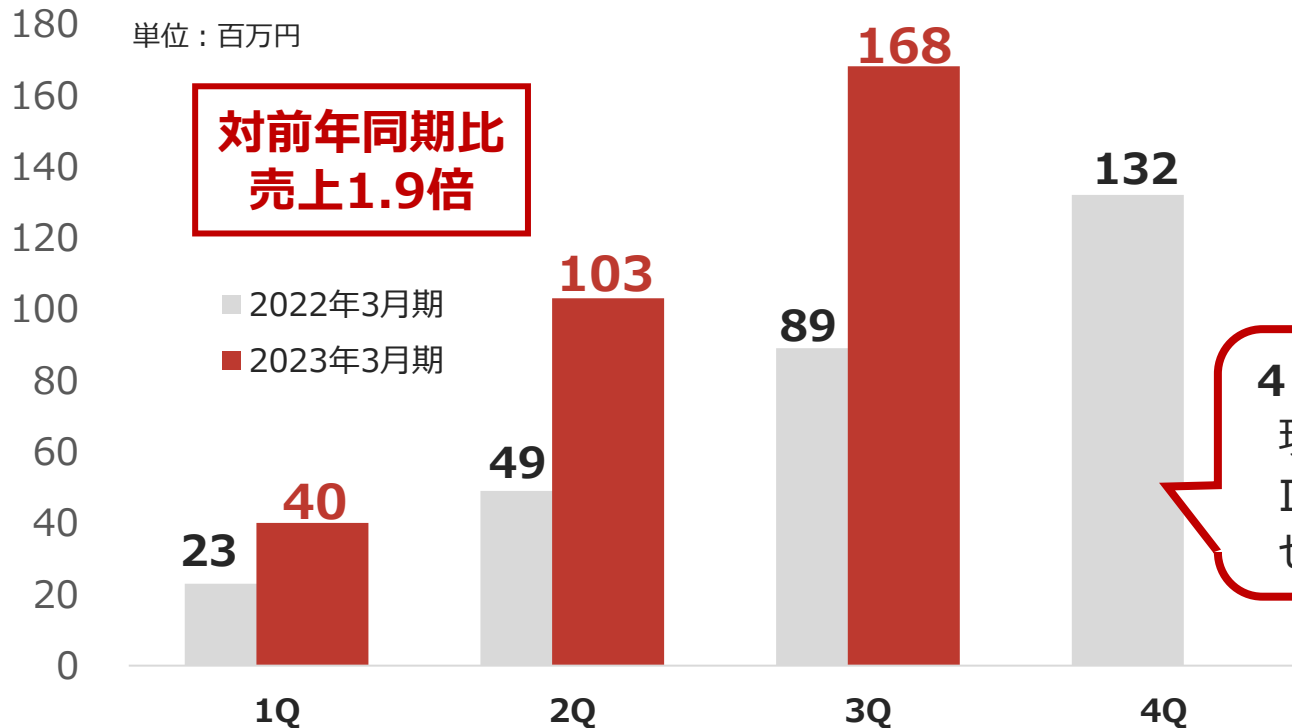
#### 新規ビジネスの展開

- ERPベンダーのインフォアジャパンとアライアンスパートナー契約を締結。ERP導入支援コンサルティングを開始
- セレンディップ・テクノロジーズは、新規ビジネスを通じたエンジニア単価アップに向け、リスクリング強化に着手



# コンサルティング事業の売上推移とコンサルタントの推移

- ▶ 旺盛なニーズに対応したコンサルタント要員の増強により、売上高は対前年同期比1.9倍
- ▶ インフォアジャパンとのERP導入支援コンサルティング事業立ち上げに伴い採用活動強化



コンサルタント人数	1Q 6月末時点	2Q 9月末時点	3Q 12月末時点	4Q 3月末時点
22年3月期	4名	6名	7名	7名
23年3月期	12名	11名	11名	17名予定

# インフォアジャパンアライアンスパートナー契約

2023年1月26日 プレスリリース

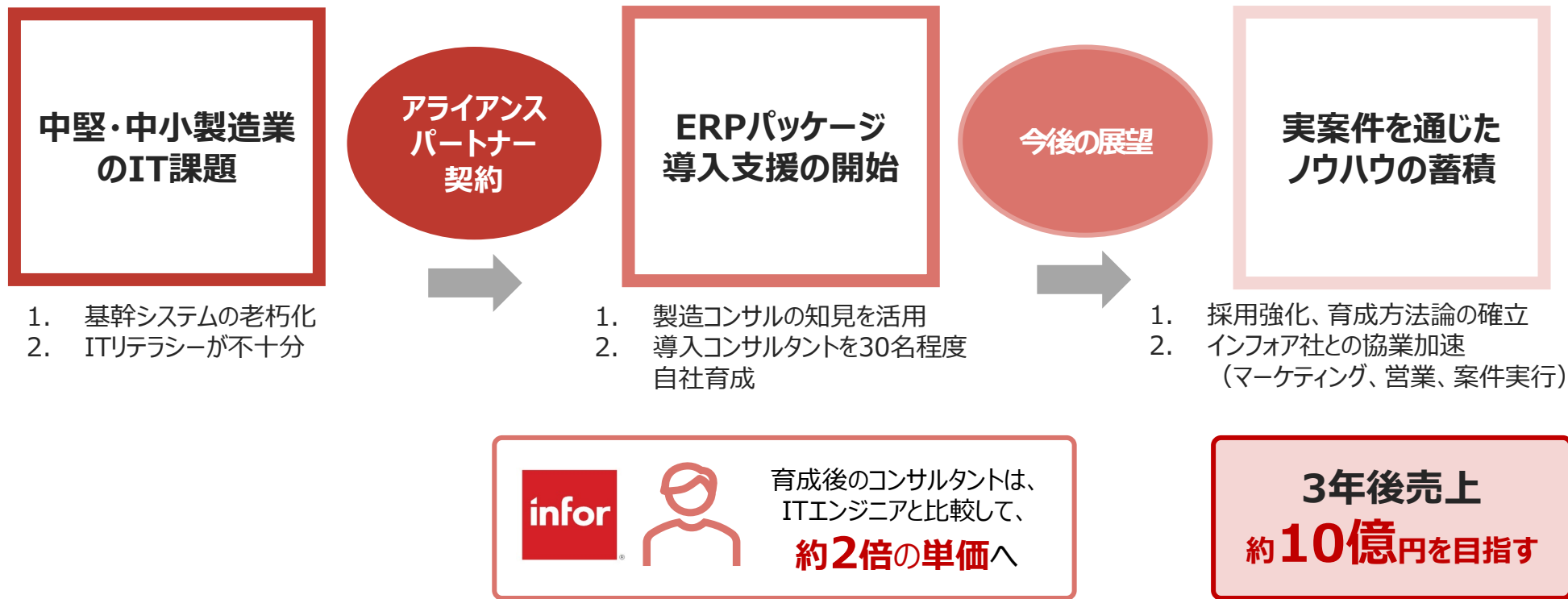


## ▶ インフォアERP\*パッケージ導入コンサルティングを開始

\*ERP：生産管理や在庫管理、販売管理に必要なデータを一元管理し、業務効率化やデータ利活用、コスト削減を図るシステム

▶ インフォアERPパッケージは、業界特化型で、カスタマイズを最小限に抑え、製造業の事業成長や変化に応じて最適化できるのが特徴。クラウドベースのため、常に最新の機能を利用でき、運用の手間も軽減可能

## アライアンスの背景（課題）と今後の展望



# セグメント全体像

## ① モノづくり事業

- 天竜精機（FA装置製造）
- 佐藤工業（自動車精密部品製造）
- 三井屋工業（自動車内外装部品製造）
- アペックス（開発段階における試作受託・デザイン）

## ② プロフェッショナル・ソリューション事業

- セレンディップ・ホールディングス（プロ経営者派遣、経営コンサルティング）
- セレンディップ・テクノロジーズ（設計・開発・ITエンジニア派遣、ソフトウェア開発）

## ③ インベストメント事業

- セレンディップ・フィナンシャルサービス（ファンド・共同投資・フィナンシャルアドバイザー）

# インベストメント事業の業績見通し

## インベストメントセグメント事業の目標とする投資実行・FAの成約に向けた活動

### パイプライン強化の成果

#### 検討数

投資検討案件数：前年同期比 **1.34倍**  
FA案件数：前年同期比 **3.0倍**



#### 営業・提案

増員（**4名→7名**）  
案件数増加に伴い増員



#### 実行

投資実行数：**1件**  
（上場後初 2022年11月三河鉱産）  
FAクロージング件数：**3件**  
（売上高 前年同期比 **25.1倍**）

### 今後の見通し

#### 投資

- 前期までに締結した複数地方銀行とのアライアンスを起点にした案件創出機会が増加し、質も向上傾向
- 投資実行に向けて、案件精査中

#### フィナンシャルアドバイザー（FA）

- 営業職の増員によって、営業・提案力の強化
- M&A業務の引き合いが旺盛のため、営業職の採用を強化

# 日本ものづくり事業承継基金1号ファンド 設立について

—  
*we can create  
a better world*





- セレンディップHD子会社であるセレンディップFSと、SBI新生銀行子会社である新生企業投資が合併会社（日本ものづくり事業承継投資）を設立し、共同でファンド運営
- ファンド総額としては65億円を計画し、2023年2月3日時点のファンド規模は51.15億円

## 基本情報

◆ファンド名	日本ものづくり事業承継基金 1 号投資事業有限責任組合
◆設立	2023 年 2 月 3 日
◆ファンド規模	51.15 億円
◆無限責任組合員（GP）	日本ものづくり事業承継投資株式会社
◆有限責任組合員（LP）	独立行政法人中小企業基盤整備機構、株式会社 SBI 新生銀行ほか、 地域金融機関



# 本ファンドの理念

- セレンディップグループとSBI新生銀行グループ両者の強みを活かし、中小ものづくり企業の事業承継問題解決を目指す

## セレンディップグループ 事業面の強み

ものづくり企業へのきめ細やかな  
ハンズオン支援（PMI\*）の実績

## SBI新生銀行グループ 投資/金融面の強み

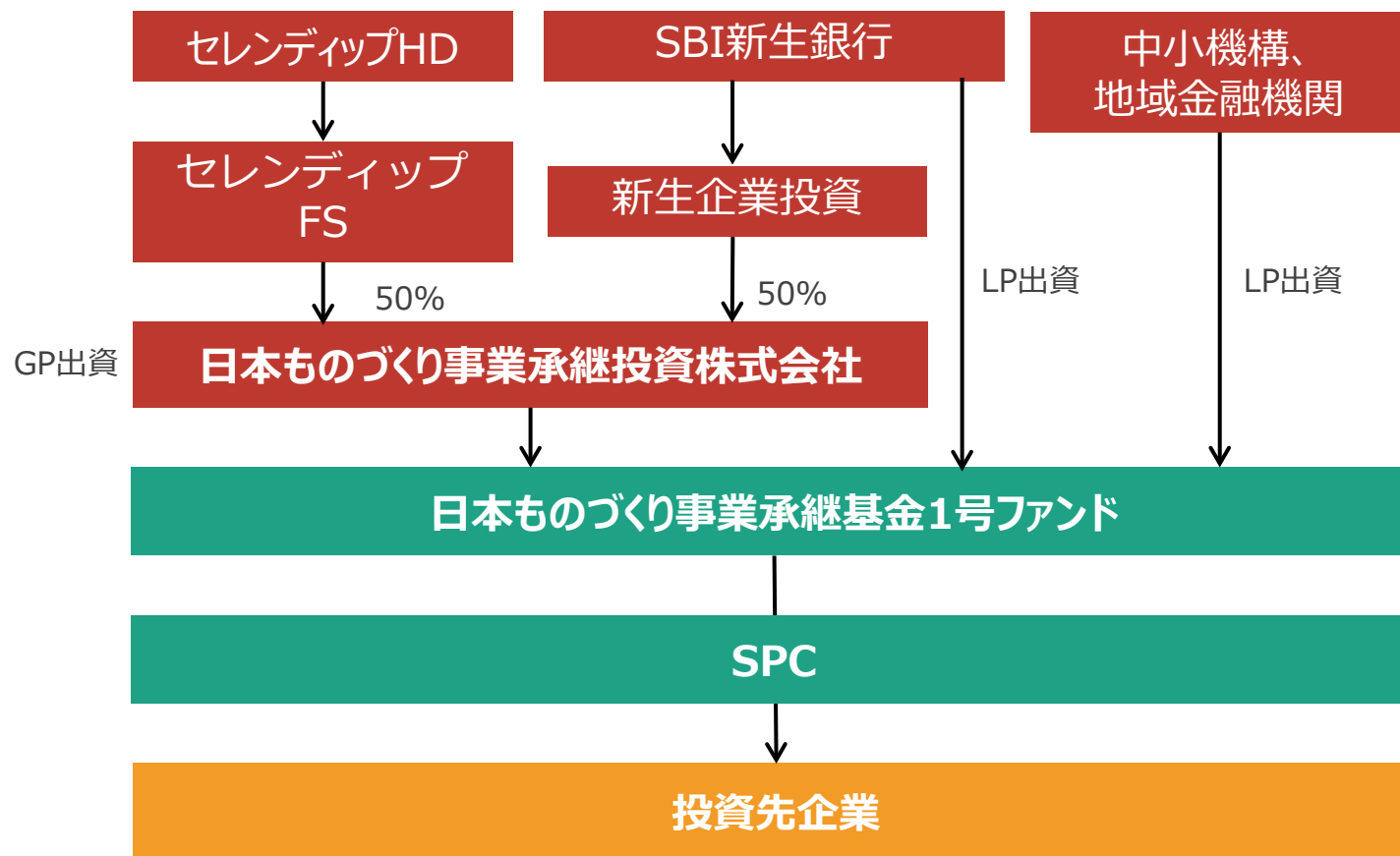
豊富な投資実績や  
ファンド運営ノウハウ

## 本ファンドが目指す3つの貢献

1. 経営人材育成やDX(デジタルトランスフォーメーション)を通じた  
**投資先企業の生産性向上**
2. **地域経済の発展**
3. 国際競争力の高い**我が国製造業のサプライチェーン強靱化**

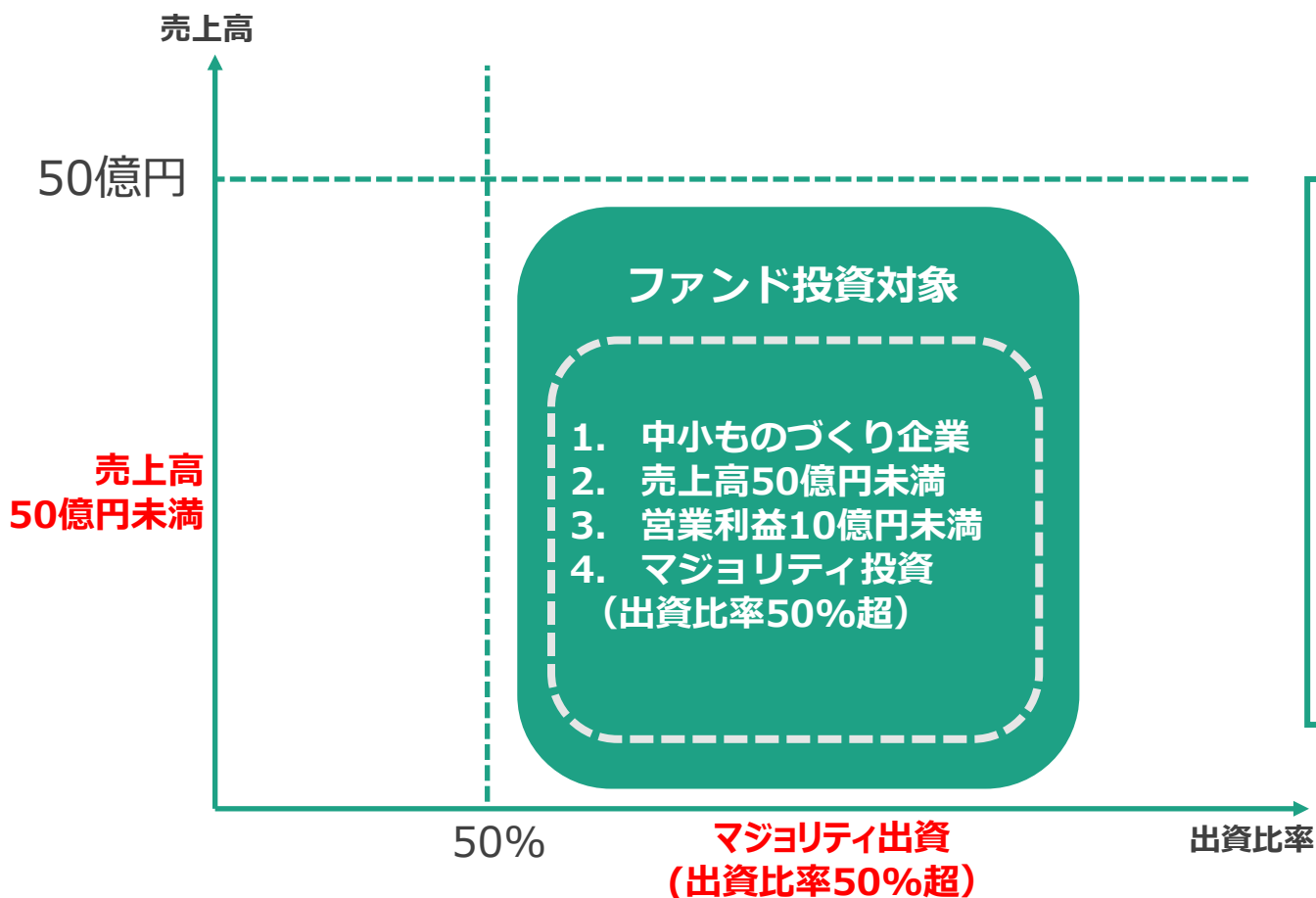
\* PMI : Post Merger Integrationの略。M&A後の統合プロセスとマネジメント

- セレンディップHD子会社であるセレンディップFSと、新生銀行子会社である新生企業投資が合併会社：日本ものづくり事業承継投資株式会社を設立し、共同でファンド運営
- LP出資者は、主に中小機構（25億円）および地域金融機関



# 本ファンドの投資対象

- 本ファンドの投資対象を定義
- セレンディップグループにとって初となるファンド設立。  
より機動的な投資を推し進め、国内事業承継の課題解決につなげる

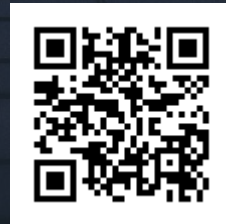


## 本ファンド 投資先企業のイメージ

1. 量産型製造メーカー
2. サプライチェーンが  
強固な業界
3. 開発型
4. サプライチェーンが長い
5. 部門が複数ある企業
6. コロナで一時的な赤字から  
脱却できていない



ir@serendip-c.com



## Contact Us



愛知県名古屋市中区錦 1-5-11  
名古屋伊藤忠ビル



052-222-5306



<https://www.serendip-c.com/>

## 本資料に関する免責事項

本資料には、当社又は当社グループに関連する見通し、計画、目標などの将来に関する記述がなされています。これらの記述は、当社が現在入手している情報に基づき、本資料の作成時点における予測等を基礎としてなされたものであり、一定の前提（仮定）の下になされています。これらの記述又は前提（仮定）が、客観的には不正確であったり、又は将来実現しないという可能性があります。

また、本資料に記載されている当社及び当社グループ以外の企業等に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、また、これを保証するものではありません。